

製品名		塩化ビニル					国連番号		1086														
化学名		塩化ビニル					SAMPLE																
該当法法規対応・危険有害性											道路法												
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス保安法														
類 別						指定可燃物	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 ガ ス 圧 ス	液 化 石 ガ 油 ス	施行令 第19条 の12、13										
第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類														●		●		
特 性	危 険 性			有 害 性					環 境 汚 染 性		性 状												
	禁水性	爆発性	可燃性	有害ガス発生			目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性											
				常温	可燃時 火災時	水に 接触																	
	●	●	●				●			●													
<b>事故発生時の応急処置</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 車を安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。)</li> <li>② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。</li> <li>③ 火気厳禁。引火性が高く、エンジンの熱や火花は着火源になる。</li> <li>④ 容器を覆っているシート等を取り除き、ガスを大気に放出・拡散させる。</li> <li>⑤ 保護具を着用し、風上より消火、漏れ止め、回収、容器冷却、容器移動等の災害拡大防止措置と行う。</li> <li>⑥ 下記事項を荷主会社、運送会社、地域防災組織等の関係機関へも連絡する。</li> </ol>																							
<b>緊急通報</b> 119(消防署)・110(警察署)・高速道路の非常電話  {緊急通報例} 1. いつ ○○時○○分頃 2. どこで ○○市○○地区(国、県、市)道○○号線○○付近で 3. なにが 『塩化ビニル(高圧ガス、可燃性、毒性)』が 4. どうした 漏れています。/漏れて火災になっています。 5. ケガ人は ケガ人がいます。(救急車をお願いします)/けが人はいません。 6. 私の名前は ○○運送会社 ○○です。																							
<b>緊急連絡</b> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">荷送会社</td> <td style="width: 50%;">運送会社</td> </tr> <tr> <td>住所</td> <td>住所</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>電話</td> </tr> <tr> <td>平日・昼間</td> <td>平日・昼間</td> </tr> <tr> <td>休日・夜間</td> <td>休日・夜間</td> </tr> </table>														荷送会社	運送会社	住所	住所	電話	電話	平日・昼間	平日・昼間	休日・夜間	休日・夜間
荷送会社	運送会社																						
住所	住所																						
電話	電話																						
平日・昼間	平日・昼間																						
休日・夜間	休日・夜間																						

製品名	塩化ビニル	国連番号	1086
化学名	塩化ビニル	SAMPLE	

### 災害拡大防止措置

#### <漏えいしたとき>

- ① 風上の人を退避させる。漏えいした場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。
- ② 作業際には必ず保護具を着用し、風上で作業しない。
- ③ 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。危険のないときは、漏えい部を塞ぐ。

#### <周辺火災のとき>

- ① 容器を安全な場所へ移動する。
- ② 移動することが不可能な場合は、容器の破損防止のために容器及び周囲に散水する。

#### <引火・発火したとき>

- ① 爆発性混合気を作らないよう、漏えい部が塞がれるまで火災を消さない。
- ② その後、火災に対し炭酸ガス、粉末あるいは水噴霧を用いる。
- ③ 容器を水噴霧により冷却し、安全な場所に移す。容器が加熱されると破裂する可能性がある。

#### <救急処置>

- ① 目に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い流す。
- ② 皮膚に触れた場合は、直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせる。付着部または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。
- ③ 吸入した場合は、直ちに患部を毛布にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸困難または呼吸が停止している時は人工呼吸を行う。
- ④ 患者が発生した場合は、できるだけ早く医師の手当を受ける。

#### 特記事項

- ① ガスが漏えいした場合、空気中の濃度が4%を越えると、火災や爆発の危険が生じるので、ガスを覆っているシート内に滞留しないよう注意。空気より重いガスで、漏れると底部に滞留する。
- ② 容易に着火・爆発するため、火災だけでなく、高熱物、化繊材の服の静電気や工具使用時の着火源にも注意が必要である。
- ③ 容器内圧力 : 40℃で0.49MPa(5.0kg/cm<sup>2</sup>) [ケージ圧力]  
爆発範囲 : 4~22%(空气中)  
許容濃度 : 5ppm  
相対密度(ガス比重) : 2.2(空気を1とする。空気より非常に重い。)  
沸点 : -13.8℃  
液密度 : 0.92(at 15℃)  
色・臭い : 無色・クロロホルムに似た臭  
容器外面の塗色 : ねずみ色